小学校５年　国語　調査結果の考察

（１）設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 ＼ 設定通過率の	観点別				計
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	
＋10％ より高い	0	0	0	3	3
±10％ の範囲内	1	1	4	5	１１
－10％ より低い	1	0	0	1	2
計	2	1	4	9	１６

（２）考察

①　全体について

ア　「言語事項」についての学習状況はおおむね良好である。

イ　「話すこと・聞くこと」「書くこと」については学校間での差が大きい。

②　成果

ア　「読むこと」では、段落の内容を整理しながら読んだり、事実と意見の関係を押さえて筆者の論の進め方を考えながら読んだりすることが、おおむね良好である。

イ　「言語事項」では、漢字の読み・書き、接続語の選択、書写、辞書の活用は良好である。

③　課題

ア　「話すこと・聞くこと」では、話し手の意図をとらえながら聞く力や話の中心に気を付けて聞く力が十分に身に付いていない。

イ　「書くこと」では、目的や相手に応じて、自分の考えを効果的に書く力が十分に身に付いていない。

ウ　「言語事項」では、漢字の由来や構成部分についての初歩的な知識の定着が十分でない。

（３）今後の指導

ア　「話すこと・聞くこと」では、述べ方の工夫に気付かせる指導を取り入れたい。

・伝えたいことを的確に話したり聞き取ったりするために、どんな話の順序や組み立てが分かりやすいか、「書くこと」「読むこと」との関連を図って確認する。併せて、理由、根拠や事例を挙げながら筋道立てたり、前置きをして概説したり、結論付けを明確にしたり、必要な文言や数値等を引用したりするなどの有効性に気付かせたい。

・話の筋道を明確にするためのメモ作りを大切にする。キーワードを箇条書きにしたり接続語をメモしたりして、一文を短くし、接続語で意味のつながりを示して話すことを意識させたい。

15)　スピーチの話の組み立てについて、よいところを見付けて発表します。どんなことを話せばよいですか。

イ　「書くこと」では、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりする指導を充実させたい。

・何のために、どのような事を、どのように書くのか、目的や意図に応じて、文章の種類や様式、形式、詳細の度合いや文末表現等を選択して書く学習を展開する。

・理解しやすい効果的な表現や構成になっているか、目的や意図に照らして互いに助言し合う場を設定し、読み手の立場になって、分かりやすさを評価する活動を取り入れる。

16)　参加したいコースを一つ決めて、くわしく教えてほしいことや取り上げてほしいことについて、お願いの手紙を書きましょう。

手紙の本文は、最初に、選んだコースとその理由を書いてください。